



5月5日は手指衛生の日 ～手洗いが感染対策につながってるって知ってますか～

感染管理認定看護師



たかもと きょうこ
高本 恭子

私は感染管理室に所属し、院内感染管理を担当しています。感染対策の啓発や職員への感染予防教育、全職員からの感染対策に関するアドバイスなどを行うことですべての人々を感染から守る役割を担っています。

さて、5月5日はWHO（世界保健機関）が医療施設における「手指衛生の日」として啓発活動を行っています。なぜ5月5日かというと、両手をパーに広げて5本指を立てて、「5」月「5」日というところからこの日に定められました。

皆さん、手洗いが感染対策につながってるって知ってますか？

実は、食事の前やトイレの後、外出先から帰った時などの手洗いは、ノロウイルスやインフルエンザなどの身近にあるさまざまな感染症に対して、日常生活の中でできる基本的な感染対策です。ところが、消費者庁のアンケート調査では、手洗いの目的を感染対策のためと考えている人は50.9%、また、トイレ使用后、手を洗わない人が15.4%もいました。

「感染症」の原因になる細菌やウイルスは目に見えません。そのため、知らないうちに細菌やウイルスが手につき体内に侵入し色々な感染をひき起こします。日常生活の中で帰宅後・調理前・食事前・

トイレ使用後に手を洗うことは感染対策の有効な手段です。

自分たちでできる簡単な感染対策を地域全体で取り組んでいきましょう。

困ったことがあれば、いつでもご相談ください。



さあ、みんなで手をあらおう!!

